

民生委員・児童委員の負担軽減に向けた取り組みについて

健康福祉政策課

1. 政策等の背景・目的及び効果

近年、少子高齢化の進行や、世帯構造の変化、ライフスタイルの多様化など、地域社会や家庭を取り巻く環境が大きく様変わりする中で、地域において常に住民の立場に立って相談に応じ、適切な機関へつなぐ役割等を担っていただいている民生委員・児童委員の活動ニーズはますます多様化し、さらに重要となる一方で、担い手不足が全国的な課題となっています。

本市においても担い手は不足しており、加えて任期中に辞職する委員も増加傾向であることも踏まえ、この間、民生委員活動における負担軽減策の検討を行ってきました。

負担軽減策の検討にあたりましては、令和5年6月に全民生委員・児童委員対象のアンケート調査の実施や、課題を把握するため開催した「民生委員・児童委員座談会」での意見を踏まえ、令和6年9月から、手軽に情報を共有できる「民生委員・児童委員専用ウェブサイト」を試行導入してきましたが、令和7年度より本格運用を開始し、民生委員・児童委員活動の負担軽減を図るものです。

2. 内容

(1) 本市における民生委員・児童委員の現状

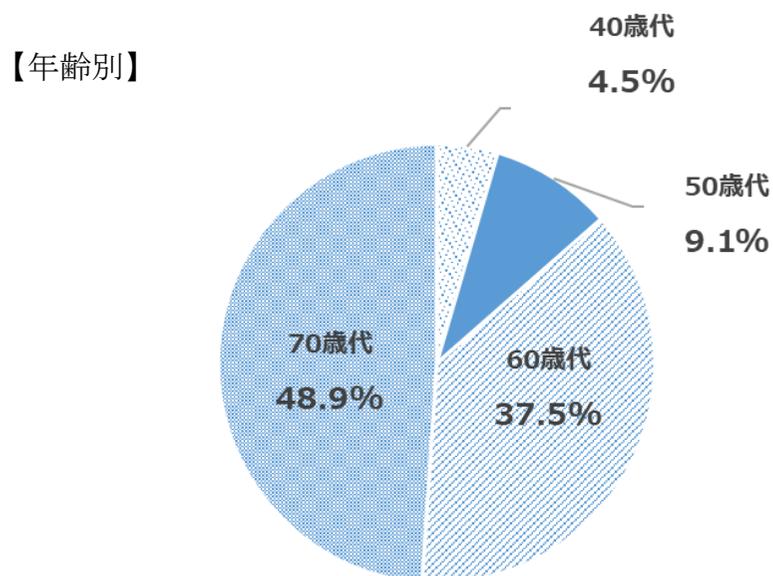
現在、本市における民生委員・児童委員の充足率は 84.2%で、公表されている直近の全国平均（令和4年度）の充足率 94.5%を下回る状況です。

また、前回の一斉改選時（令和4年12月）から現在（令和6年12月）まで、39名の民生委員・児童委員および主任児童委員の欠員補充を行ってきましたが、体調不良等の理由により34名の辞職者が発生したことから、5名のみの増員となっています。

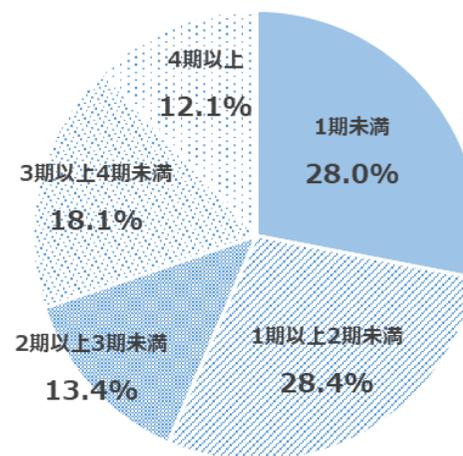
		前合一斉改選時（令和4年12月1日）			現在（令和6年12月1日）			前合一斉改選時から現在までの 欠員補充・辞職者の状況	
		民生委員・児童委員	主任児童委員	合計	民生委員・児童委員	主任児童委員	合計		
定数		501名	44名	545名	501名	44名	545名		
現員数	男	115名	2名	117名	113名	3名	116名	欠員補充者数	39名
	女	309名	33名	342名	316名	32名	348名	辞職者数	34名
	計	424名	35名	459名	429名	35名	464名	増減数	5名

本市の民生委員・児童委員の年齢要件は、75歳未満（例外的に1期3年の延長が可能）となっていますが、現在の年齢別構成では、70歳代の委員が48.9%を占めており、民生委員・児童委員の高齢化が進んでいます。

また、民生委員・児童委員の任期は1期3年となっており、身近な相談者として、経験を積みながら任期を更新し、継続して活動していただくことが望まれています。現在活動される民生委員の在任期間は、2期末満の委員が全体の56.4%を占めており、半数以上の方が民生委員・児童委員としての経験が浅い状況となっています。



【在任期間別】 ※1期の任期は3年



(2) 負担軽減に向けた取り組み

① 課題の把握 ～民生委員・児童委員座談会～

本市における民生委員・児童委員が抱える課題を把握するため、民生委員・児童委員から、委員活動の現状や不安に感じることなどの生の声を聴く「民生委員・児童委員座談会」を令和4年度から定期的で開催しています。参加者からは、日常生活に占める民生委員・児童委員活動の割合や負担の大きさに悩みを抱えているといった声が多く聞かれるなど、民生委員・児童委員にとって活動しやすい環境の整備が必要であることが分かりました。

また、本座談会については、開催当初は課題把握を目的としていましたが、経験の浅い委員から、「自分だけが悩んでいるのではないことが分かって不安感が和らいだ」、「先輩委員からの話だけでは分からなかった悩みが解決してよかった」などの声があり、委員同士が悩みを共有し相談できる関係づくりの場や知識や方法を学ぶ勉強会の場となる効果も期待できることから、負担軽減策の一環として開催を継続しています。

そのモヤモヤ、ひとりで悩んでいませんか？
～あなたの悩みが、みんなの解決策に～
民生委員・児童委員 座談会

今年の3月に開催しました「民生委員・児童委員協議会」の第2弾も、今回は40代から50代の皆さまを対象に開催します！
日頃の民生委員活動の中で困っていることや「もっとこうだったら楽だしやさいな」など、普段感じている思いを、地区の仲間を呼んでじっくりお話ししませんか？
今回はZoomの会場開催に加えて、後期のオンライン開催も予定しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 令和5年9月21日(木)
14時～16時(会場開催)または18時～20時(オンライン開催)
※会場は教方市役所(予定)

出次 町舎 8月29日(火)までに
*Zoomリンクまたはお電話にて
お申し込みください。

前回開催した座談会の様子▼

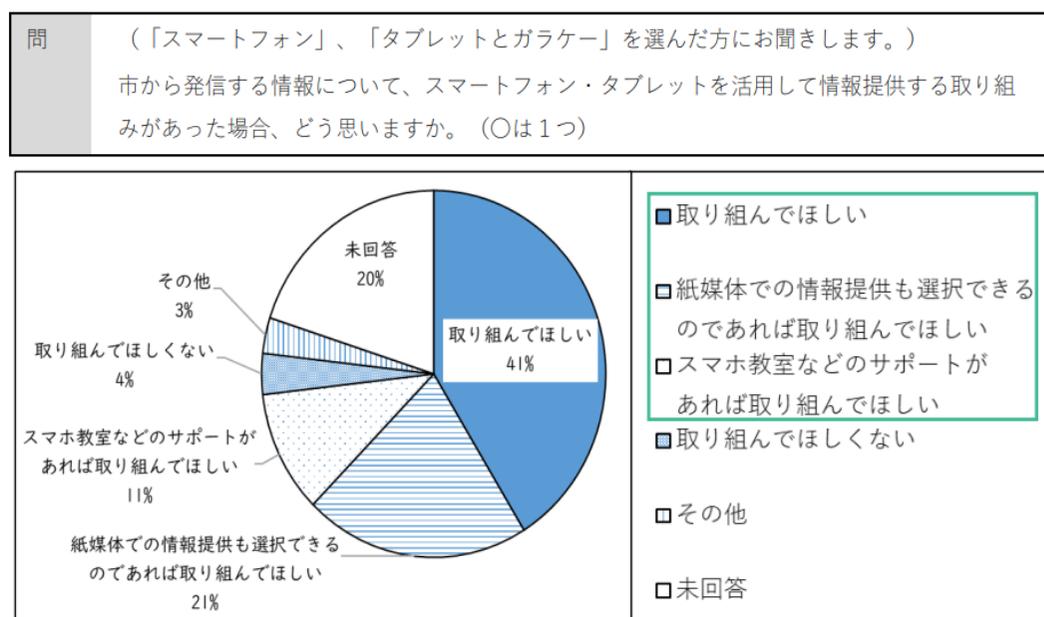
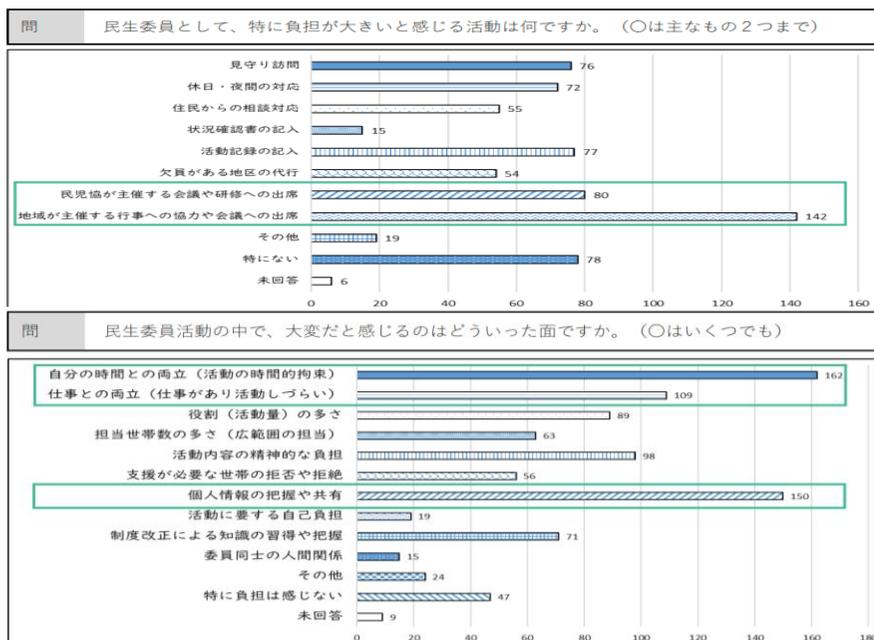
■お問い合わせ
教方市 健康福祉政策課(担当:原田・荒井) ☎072-841-1319(直通)
教方市民生委員児童委員協議会(担当:立島・高岡) ☎072-807-3448(直通)



▲「民生委員・児童委員座談会」の開催チラシと開催時の様子

②現状の把握 ～アンケート調査の実施～

「民生委員・児童委員座談会」での意見等を踏まえ、令和5年6月に全民生委員・児童委員を対象とした活動の現状を把握するためのアンケート調査を実施したところ、会議や研修などの「委員活動以外の活動」での負担、「委員活動と日常生活の両立」の難しさなどが課題であることが分かりました。また、スマートフォン等を活用した情報発信の取り組みに関する設問に対しては、条件付きでの賛成意見も含めて、取り組んでほしいとの回答が約73%でした。そのほかにも、「紙資料は保存・管理が大変なのでペーパーレス化してほしい」、「民生委員活動に役立つ情報や行政の取り組みをまとめたWEBサイトを作ってほしい」、「定例的な活動報告を紙だけでなくWEBからも提出できるようにしてほしい」など、民生委員活動のDX化を求める意見が多く見受けられました。



③新たな取り組み ～民生委員活動のDX化～

座談会やアンケート調査を通じて把握した課題や実態を踏まえ、スマートフォンを活用した情報発信を実現するために、令和6年9月から民生委員専用WEBサイト「民生委員なんでもサイト」を試行導入しました。

これにより、これまで紙資料だけで情報発信を行っていた活動の年間スケジュールや毎月の会議や研修資料、関係機関等からの情報、民生委員活動に使用する様式やマニュアル等がWEB上で閲覧できるようになったほか、活動に必要な知識や情報をサイト上に掲載することで、委員の都合の良い時間に活動に役立つ知識の習得に役立てていただくことも可能となりました。

また、定例的な活動報告や事務局への問い合わせなどもWEBサイト上から可能とすることで、活動の効率化を図り、仕事や子育て、介護など様々なライフスタイルを背景に持ちながら活動する方にとって活動しやすい体制整備を行いました。

なお、試行導入にあたっては、操作手順の写真付きのマニュアルを作成し、全民生委員・児童委員に配布したほか、「民生委員なんでもサイト」にアクセスするための講習会や個別の相談会も開催し、スマホの操作に不慣れな方でもWEBサイトを使ってもらえるようサポートを実施しました。



▲「民生委員なんでもサイト」の画面とサイトへのアクセスを体験する様子

3. 今後の取組

試行導入にあたっては、本市がライセンスを所有する「Kintone」等のDXツールを活用して取り組みを進めてきましたが、令和7年度からの本格運用以降は、枚方市民生委員児童委員協議会がライセンス等を取得し、民生委員・児童委員が主体となり、市や民生委員児童委員協議会事務局と協力しながら、民生委員にとって活用しやすいサイトの運営を行います。

4. 実施時期等

令和6年9月 「民生委員なんでもサイト」 試行実施

令和7年4月～ 「民生委員なんでもサイト」 本格実施

5. 総合計画等における根拠・位置付け総合計画

基本目標 2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち



6. 関係法令・条例等

関係法令 民生委員法、民生委員法施行令、児童福祉法、
枚方市民生委員・児童委員定数条例

7. 事業費・財源及びコスト

《事業費》

民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金 33,226 千円（令和7年度当初予算計上予定）

※上記事務補助金に、新規事業である民生委員なんでもサイトに係る備品購入費 821 千円を含む。

（備品購入費内訳） ・ Kintoneライセンス使用料

1 ライセンス9,504円(税込) 8 か月分 (※1) × 3 ライセンス 29千円

・ Kintone連携サービス使用料 (※2)

月額99,000円(税込) × 8 か月分 (※1) 792千円

(※1) 令和7年度7月末までは、本市が所有するライセンスの使用が可能のため、

8月から令和8年3月までの8か月分で積算

(※2) サイト閲覧、フォーム入力、メール配信等の機能を利用するサービス

《財 源》

一般財源